

くにみ

広報

NO.464

平成24年3月
2012.

3

色とりどりの美しさ

くにみ浪漫大地の恵み館に飾られている「つるし雛」。町内の女性団体に所属する人々が一つ一つ丁寧に作成したものが飾られ、合わさることですらなる美しさを見せています。(16ページに関連記事)

◆ 今月のおもな内容 ◆

特集 統合に向かって……………	2
4月からコンビニ収納を始めます……………	11
まちのわだい……………	16
保健だより……………	18
くらしの情報……………	20
生涯学習つうしん……………	22

◆統合までの経過◆

- ▶ H16. 4月
町内で初めて大木戸小学校が複式学級となる
- ▶ H17. 10月
「今後の小学校教育についてのアンケート」を実施
- ▶ H18. 11月
小坂・大木戸・大枝小学校に通う児童の保護者と就学予定の保護者に対してアンケートを実施
- ▶ H19. 6月
小坂・大木戸・大枝地区で保護者懇談会を開催
- ▶ H19. 9月
町内5地区で地区教育懇談会を開催(複式学級のメリット、デメリットが議論の中心、統廃合の意見などは出なかった。)
- ▶ H20. 2月
町議会が小坂地区で住民と議会の懇談会を開催
- ▶ H20. 6月
町内5地区で2回目となる地区教育懇談会を開催(町教育委員会として小学校の統廃合の考えを示す)
- ▶ H20. 10月
「国見町小学校適正配置検討委員会」を設置(町教育委員会より、「学校適正配置のあり方」「学校適正配置の進め方」について諮問を受け、H20. 8月まで6回の会議を行う)
- ▶ H21. 8月
「国見町小学校適正配置検討委員会」が町教育委員会に答申(町の小学校を1校とする。藤田小学校の施設を活用する。新たな小学校として位置づける。H24年度を統合の目標とする。大枝小学校については、保護者・地域・大枝小学校組合教育委員会・伊達市の意向を尊重し適切な対応をする。)
- ▶ H22. 1月
町内5地区で「小学校適正配置計画地区説明会」を開催(合わせて幼稚園教育の充実計画について説明)
- ▶ H22. 2月
「小学校適正配置推進協議会」設置(H24. 2月まで12回の会議を開催)
- ▶ H22. 1月～10月
小学校の適正配置について、地区や保護者に対して説明会を開催
- ▶ H22. 11月
町と町教育委員会は、小学校を1校としH24年度の開校を決定
- ▶ H23. 4月
新小学校の名称決定「国見小学校」
- ▶ H23. 5月
「統合準備会」が発足(統合に向けて各種の作業を分担して進めることとなる。)
- ▶ H24. 1月
国見小学校の校章とスクールバスの運行コースが決定



—特集—

統合に向かっ

まの小学校が一つになる

—国見小学校 開校—

平成24年4月
国見町の五つの小学校は
一つの新しい小学校となる。

「国見小学校」の開校
その背景には、
子どもたちの教育環境を
いちばんに考えた
町の人々の思いが
たくさん詰まっている。

町の歴史上、
大きな出来事となる小学校統合
広報「くにみ」では、
今月号から3回にわたって
シリーズでお伝えします。

1回目は、統合までの経過と
専門家・保護者・児童の声を
お届けします。



望ましい 教育を求めて

小学校の統合まで1カ月を切りました。国見町で小学校統合が進められた背景、また、統合のために検討してきたことを振り返ります。

児童数減少と 施設の老朽化

社会問題ともなっている「少子化」により、国見町の今年度の児童数は、509人と10年前に比べ、114人も減少しています。そして児童数が減少することにより、小坂、大木戸、大枝の三つの小学校では、複式学級を実施している状況です。このため、藤田小学校以外では適正規模での教育ができない状況になっていきます。

適正規模とは、小学校では12学級以上18学級とされ、この範囲が子どもたちの教育に適しているというものです。また、国見町の小学校では施設の老朽化の問題もありました。特に体育館やプールは築50年以上のものもあり、子どもたちの教育環境を考えると早急な整備が課題となっていました。児童数の減少と施設の老

朽化により、私たちは子どもたちにとって望ましい教育を考えるきっかけとなりました。

子どもたちにとって望ましい教育を

平成20年10月に設置された「国見町小学校適正配置検討委員会」では、小学校統合を検討するにあたり、今後の児童数の推移、適正規模の確保、通学距離、活用する学校の状況などを重視しました。さらに適正配置を進める上では、複式学級の早期解消、安全安心な教育環境(校舎や体育館などの整備)、組合立大枝小学校の国見町分統合のことな

どを配慮しました。その上で、検討委員会は五つの学校を一つにすることが妥当と結論を出し、統合の時期は平成24年4月としました。また、校舎は藤田小学校を活用するものの、藤田小学校に他の小学校を吸収するのではなく、新たな小学校を創るということになりました。検討委員会の答申をもとに町と町教育委員会は、子どもたちにとって望ましい教育を求めてさらなる検討を重ねました。そして、平成22年11月、町の五つの小学校を一つに統合し平成24年4月に開校するという方針を定め、今、まさに国見小学校のスタートを迎えようとしています。



●鳴原和哉校長 東和
小学校開校1年前に旧
針道小学校に着任し、
新しい小学校の初代校
長として、小学校の運
営にご活躍。

東和小学校の場合、統合前より多くの友だちとかわりを持って学ぶことができるようになりました。例えば、授業中の話し合いの場面で児童数が多いほど意見を交わす相手がいるということになりやす。いろいろな考え方を持つ友だちとかわり合うことは良い意味で刺激になります。また、互いに協力したり、思いやりやったり、集団で何かを作り上げる楽しさや喜びも統合したことによって味わうことができます。少規模校における少人数教育にも良さがありますが、音楽や体育の授業のことを

二つ目に、コミュニケーションによる通学のことです。当初は、長時間に及ぶバスの移動は車酔いなどの

●データ●
二本松市立東和小学校全校児童337人、旧東和町の7つの小学校が統合して新しい小学校として平成22年4月に開校。特色ある学校をめざし、校舎には、太陽熱を利用した暖房やパイプオルガンなどの設備があるのが特徴。

七つの小学校が一つに統合

二本松市立東和小学校 鳴原 和哉 校長

考えると、ある程度適正規模での教育が必要と感じています。

統合には不安もあったが

統合したことにより集団が大きくなったことは、子どもたちにとって大きな環境の変化となり、統合に際しては保護者も教師も何らかの不安がありました。一つ目は、大きな集団での生活に慣れずに人間関係に適応できない児童が出るのではないかと意識して、しかしながら、交流会などの合同行事やスポーツなど地域での交流があったことがあり、児童はすぐに新しい小学校での生活に適応しました。

地域で支える小学校

福島大学人間発達学類 森田 道雄 教授

今、子どもたちを取り巻く教育環境

少子化は教育だけでなく、大きな社会問題です。特に地域共同体の存続に関わる問題でもあります。そういう意味で、都市部に集中する中央集権的な国の在り方が、政策は地方分権とか地域主権とか「かけ声」は聞きますが実体はまだ正体不明です。それよりも、国の政策待ちではなく、国見の子どもは国見が(で)育てる、という意識をハッキリ持つことが重要です。

子どもたちにとって望ましい教育とは

これまで学校教育は社会に順応する人間を育てて「良し」としてきました。しかし、未来での地球規模での問題を懸念されるなかで、それに立ち向かえるだ

けの人間の育成が必要で、持続可能な社会の担い手を育てることです。思考力・判断力・表現力を重視すると文科省は言っていますが、知識をただ覚えるだけではなく、それを生かせる力が求められています。なかでも「考える力」は持続的に学べる力でもあります。今や、先進諸国の教育改革はこの方向にシフトしているのです。

統合することから得られるもの

学校の統合は、学校がなくなる地域の存続の問題などデメリットがあります。効率という観点で統合をとらえることは間違っています。デメリットがあるにもかかわらず、ある程度の規模の学級、学校が必要だということを確認して統合と

心配もありましたが、1カ月程度で自然とその心配はなくなりました。統合前に持った不安は、統合の準備期間で十分な説明やその対処をしたため、大きなものとならなかったと思っています。

七つの小学校の良さを引き継いで

統合する前、それぞれの小学校は地域にとって大きな存在でした。新しく一つの小学校となったのは、事実ですが、七つの小学校が築いてきた伝統や校風が今の東和小学校の土台となっています。教育現場として、七つの小学校の良さを引き継いだ子どもたちの良いところをさらに伸ばし、「東和小になって良かったね」と感じてもらいたいです。



●森田道雄教授 福島
大学人間発達学類教授、
国見町小学校適正配置
検討委員会委員長。専
門家の立場で学校適正
配置のあり方の審議に
参加。

は、子どもたちが仲間と共に豊かな学び、豊かな育ちを期待したからにほかなりません。この「仲間と共に」とは、多様な個性がまじりあうこととお互いに学びあうということ。ひとつの「正しい結論」を教え込む、という教育から、更に進んでいろいろな問題、解答を吟味し、間違った結論でもなぜ間違いかを検証してそこから学ぶ、というような本当の学力を身につける、ということ。仲間への思いやりも人との関わり合いから学べるものです。このメリットに期待したからにほかなりません。

先に述べたことの延長ですが、地域で支える具体的な形、学校を支援する住民のボランティア組織のようなものをつくっていただきたいですね。文科省はコミュニケーション・スクールというところで全国の各学校で試行しています。学校と地域の日常的な交流が、地域で子どもを育てるうえで大事なことです。

統合後の学校で大切なこと

「国見小学校」に期待すること

統合する学校名を、現存の学校名としてよいのかという意見が委員会でも出されました。その学校に吸収合併するのはなく、新しい学校を国見町みんなで作

教育現場として全力を注ぐ

藤田小学校 大橋 芳光 校長



●大橋芳光校長 藤田
小学校校長、国見町中
小学校校長会会長として、
町の小学校統合を支えて
きた。

校運営のことが全て盛り込まれている教育計画の作成でした。教育計画には、藤田小学校のもの、藤田小学校の他の小

統合に向けて教育現場での取り組み

統合にあたり、現場の意見として一つだけお願いしたことがあります。それは、統合の時期を平成24年度にしてほしいということでした。平成23年度から新しい学習指導要領に切り替わることから、現場がより安定した状況の中で子どもたちの指導ができるよう1年間の準備期間が必要と考えたからです。

適正配置の推進にあたり、校長会では「学校運営プロジェクト」と名付け、新しい小学校の教育計画作成、服装やスクールバスなどの準備に取り組んできました。中でも力を入れたのが学

新しい小学校として基本となる教育目標は、「よく考える子ども」「心やさしい子ども」「元気で明るい子ども」です。そのために、現場の先生方はこれからも全力を注いでいきます。

子どもの親として 真剣に考える



左から
小坂小学校PTA会長 赤坂 正行さん
大木戸小学校PTA会長 中山 宗隆さん
進行役 赤井直明さん
藤田小学校PTA会長 安藤 雅規さん
森江野小学校PTA会長 佐藤 裕子さん
大枝小学校PTA副会長 岩淵 力さん

が、当時、藤田地区は統合する必要は全くないと言っても不思議でなく、この話に反対する人はほとんどいませんでした。国見全体の子どもたちのことを考えようじゃないかという雰囲気は藤田地区にはありません。結局、メリットデメリットは必ず発生します。それを天秤にかけてメリットが多いと判断したからこの事業がスタートしたと思います。

それでは、統合が決まって新しい小学校に何を期待するのか、ご意見を伺ってまとめたいと思います。中山 新しい国見小は、これからそこで学ぶ子どもたちの学校であって、子どもたちには、国見小での新しい思い出、それぞれの楽し

小学校の統合。望ましい教育を考える上で、中心となっていたのは、子どもたちの保護者の皆さんでした。統合まで1カ月となった今、子どもの親として「国見小学校」に期待することを、代表してPTA会長さんに語っていただきました。

赤井畑 進行役の赤井畑です。初めに統合が決まる前にそれぞれの地区で統合に対するメリットデメリットについてどのようにとらえていたか教えていただきました。と思います。

中山 大木戸小は、町で最初に複式学級になったというところもあり、保護者として複式学級を身近に感じていました。幸い国見町の場合は、町で先生を一人加えていただき、学年としては複式だけと授業は別々にやっています。しかし、いつこの対応が無くなるかという不安もありました。また、出生率が下がり、子どもの数が少なくなれば、みんな複式になってしまわないかという不安があり、一刻も早

く町として一つの学校というか二つとかそんな話をしていました。デメリットとしては、人数が多くなると子どもたちに目が行き届かないということでした。

佐藤 初めに話が出た当時平成18年あたりはまだ、森江野小は藤田小に次いで在校生が多く、あまり実感がありませんでした。一方で小規模校だからこそできる行事や地区とのふれあいがあったので、コミュニケーションの中心としての小学校が無くなることに不安を覚えている地区の人や保護者の人が多かったのが事実です。ただし、子どもの数の減少をみていくと、クラス10人を切るという状況が徐々に出てくるので、集団で楽器を演奏するとか団体での活動が難しくなるの

んでいけるように親と子から小学校から仲良くできるぞというところを見せていきたいです。
安藤 子どもの目線からすると友だちの数が飛躍的に増えますが、子どもたちにとって一番の良い点でないかと期待しています。例えば、今まで小規模校で出来なかつた団体スポーツを多くのおみやげと楽しむとか、活動の幅が人数が増えることによつて広がると思います。その部分を期待します。
赤坂 町の小学校が統廃合により一つになることで、国見小が周囲の人から良い学校だと思われるような形ができれば良いと思つています。それをつくるのは先生方はじめ、地域、保護者の方々だと思います。当初は、子どもたちの戸惑いや、保護者の地域習慣の違い等で御苦労されると思いますが、皆で支え合い、これからの子どもの成長を見守っていきたいと思います。
岩淵 子どもは、人数が多くなるので楽しいことの方がいっぱいだと思います。大人数になればなつたり

が目前に迫っていました。メリットとしては、人数が多くなるからこそできるバスケットボールやバレーボールに参加できるということです。一方で、地域性が無くなるという点が不安でした。

安藤 藤田小の学校の規模は国見町の中では一番大きいということがあり、当然適正配置しなくても存続の問題は無いという状況でした。ただし、藤田小だけのことを考えるのではなく、国見町全体のことを考えた時にどういう小学校の配置が適正なのかという視点で当時のPTA会長はじめ保護者の方々が真剣に考えた結果、現在の道筋ができたと思つています。

赤坂 私が最初にこのお話を伺った時、反対しました。小坂の良いところが全部無くなってしまうのではないかと思つたからです。しかし、会を重ね多数の皆さんのご意見を聞き、このふれあいから豊かな考えを持つた子供達が生まれ、心身の成長という方向に導









昨年11月、統合前に開かれた交流会

の楽しいことが待っています。PTAも大人数になるのでいろいろな行事にぜひとも参加してもらつて交流を深めてもらえればと思います。
赤井畑 ありがとうございます。私も少しだけ発言させていただけますが、統合しても決して大規模校でない、1学年3クラスです。大規模ゆえのデメリットはあまり感じなくていいんじゃないかと思つています。小規模校でできなかったことを存分に味わつていただけるといいと思います。また、保護者の皆さんには、自分たちが作っていくんだというところで何らかの形で積極的に関わってもらいたい

いてくれるのでは、と考えが変りました。
岩淵 統廃合の話では、いろいろ討議され町からの説明もありましたが西(大枝)が抜けた後、東(大枝)がどうなるのが気になる。「伊達市はどう考えているのか」ということが議論の中でも出てきました。それだけ大枝小は、行政は違うけどPTAは西と東が一緒になって仲よく、共にやっ



【敬称略】

					
国見小学校の校いでみんなといっばいあそぶことが楽しみです。 大枝小2年 小林 洸太	国見小のみんなと新しい体いくかんでドッジボールをしたいです。 大木戸小2年 佐藤 汰一	わたしは、国見小でもマラソンをやったのしくすごしたいです。 森江野小2年 本多 真緒	いっばい友だちをつくりたいです。ペン強をがんばりたいです。 小坂小2年 赤坂 佑太	ばくは友だちをもっとたくさん作って外でいっばいあそびたいです。 藤田小2年 佐藤 光	国見小では、友だちをたくさんつくってなわとびなどであそびたいです。 藤田小2年 大槻 涼花







					
友だちをいっばいつくって、おにごっこやかくれんぼをしたいです。 大枝小1年 鈴木 咲千	わたしは、友だちをいっばいつくって、なかよくあそびたいです。 大木戸小1年 紺野 夏希	くにみしょうでは、お友だちつくてなわとびできようそうしたいです。 森江野小1年 佐藤 夢叶	くにみしょうのあたらしい友だちみんなできるように、がんばりたいです。 小坂小1年 清水 万優子	くにみしょうでは、友だちなかよくできるうちに、がんばりたいです。 藤田小1年 菅原 廉	くにみしょうは、3クラスになるので友だちをいっばいつくりたいです。 藤田小1年 半澤 和奏

		
友だちと勉強や運動をがんばり、思い出をたくさん作りたいです。 大枝小3年 佐藤 穂波	国見小になったら、たくさん友だちをつくて、いっしょに遊びたいです。 大木戸小3年 岡田 裕貴	国見小になったら、友だちつくて、その友だちとあそびたいです。 森江野小3年 小池 和妃

国見小学校になったら
ぼくたち わたしたち
こんなことした～い

		
友だちをいっばいつくって、ドッチボールやサッカーをしてみたいです。 小坂小3年 黒田 拓也	たくさんの新しい友だちといろいろなゲームをしてみたいです。 藤田小3年 井上 萌香	クラブ活動がとても楽しみです。上学年の人とも仲よくしたいです。 藤田小3年 鳴原 杜和

					
こまった時でもたすけ合う仲良しの友だちができるようにしたいです。 大枝小5年 小林 裕奈	国見小学校になったら、みんなで給食を食べるのが楽しみです。 大木戸小5年 佐藤 優斗	運動会や水泳記録会など森江野小で楽しかった思い出を国見小でも作りたいです。 森江野小5年 村上 あすか	新しい体育館で、たくさんの友だちと、思いっきり遊ぶのが楽しみです。 小坂小5年 奥村 七海	他の学校の友だちと早く友だちになって体育館や校庭で遊びたいです。 藤田小5年 渡邊 ゆき	早く、みんなと友だちになって仲良く遊んだり勉強したりしたいです。 藤田小5年 吉田 響梧

					
友だちをたくさんつくて、みんなでおにごっこをして遊びたいです。 大枝小4年 岩城 治	国見小に行ったら、今よりもっとたくさん友だちを作りたいです。 大木戸小4年 阿部 申太郎	森江野小の時と同じく、国見小でも友だちたくさんつくりたいです。 森江野小4年 岡崎 優太	私は、国見小に行ったら、たくさんの友だちと楽しく遊びたいです。 小坂小3年 遠藤 咲帆	国見小になったら、スポ少のバレーボールの人数が足りないので集めたいです。 藤田小4年 阿部 雪那	新しい友だちもできるので、みんなと仲良くスポーツや勉強をがんばりたいです。 藤田小4年 田中 和希

みんなの大きな期待をのせて

福島県内では平成22年度までの10年間で75の小学校が統合などの理由で廃校となってきました。その背景にあるのは、「少子化」という社会問題です。小学校の統合問題。国見町でも少子化の影響を受け、平成16年に大木戸小学校で複式学級が実施されると、将来の児童数減少と適正規模での望ましい教育の議論が交わされるようになってきました。そして、その議論が行きついたところが、平成24年4月の「国見小学校」開校です。小学校の統合について、これまで多くの人々が子どもたちの将来を考えて真剣に議論してきました。だからこそ、みんな新しい小学校に大きな期待を持っていきます。

今年4月、国見の子どもたちの教育環境が、みんなの大きな期待をのせて大きく変わります。





春は異動の季節です 住民異動の手続きを忘れずに

3月・4月は、就職や転勤、進入学のシーズンです。引っ越しされる方も多いと思いますが、忘れてならないのが住所の届出です。この時期は、役場住民生活課の窓口が大変混雑しますので、必要な届出は早めの手続きをおすすめします。

こんなとき	種類	届出に必要なもの	届出期限
ほかの市区町村から転入したとき	転入届	・転出証明書（前住所地で発行したもの） ・国民年金手帳、国民健康保険証（加入者のみ） ・介護保険受給資格証明書（資格者のみ） ・印鑑 ・小中学生がいる場合は在学証明書 ※本人を確認する書類	引っ越しした日から14日以内
ほかの市区町村へ転出するとき	転出届	・印鑑 ・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） ・印鑑登録証（登録者） ・住民基本台帳登録カード（登録者） ※本人を確認する書類	転出する前日まで
町内で住所を変更したとき	転居届	・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） ・印鑑 ※本人を確認する書類	転居した日から14日以内
世帯主が変わったとき	世帯主変更届	・印鑑 ・国民健康保険証（加入者のみ） ※本人を確認する書類	変更があった日から14日以内

届出は時間に余裕を持って
町内から転出される方は、新たに国見町民となられる方は、住所変更の手続きを忘れずに行ってください。住所を変更するときは、役場への届出が必要です。届出をしないと、役場から

のお知らせが届かないなどの影響が出る場合があります。この時期は、窓口が混みあうことが多くなりますので、時間に余裕を持っていただく必要があります。また、届出は必ず本人か世帯主が行ってください。もし、本人か世帯主が届出に來ることが

世帯主が書いた代理人選任届（または委任状）と代理人の印鑑を持って届出をしてください。また、届出に來られた方の本人確認書類が必要で

※本人を確認する書類
(1) 一点で確認できるもの（写真付き）
・運転免許証、住民基本台帳カード、旅券（パスポート）など
(2) 二点で確認できるもの
・健康保険証、年金手帳または年金証書、住民基本台帳カード（写真なし）など
なお、戸籍の届出（出生、死亡、婚姻、離婚など）は、土・日曜日、祝日も、日直の職員がお預かりしています。

他の手続きも忘れずに

住所が変わると、住所変更届以外にも、上下水道、医療保険、納税などの手続きも必要となります。なお、印鑑や保険証、身体障がい者手帳など、必要なものをあらかじめ電話で確認した上でお願いになると、一度に手続きができます。

- 手続きの問い合わせ先■
- ◆戸籍、住民票、印鑑登録、住民異動届 …住民生活課戸籍係 ☎ 585-2115
 - ◆ごみ収集 …住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116
 - ◆国民健康保険、国民年金、老人医療、後期高齢者医療、子ども医療 …保健福祉課国保係 ☎ 585-2785
 - ◆障がい者福祉、生活保護、児童手当 …保健福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793
 - ◆高齢者福祉、介護保険 …保健福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125
 - ◆予防接種、母子手帳、健康診断 …保健福祉課保健係 ☎ 585-2783
 - ◆納税関係 …税務課収納係 ☎ 585-2780
 - ◆上水道関係 …上下水道課水道係 ☎ 585-2997
 - ◆下水道関係 …上下水道課下水道係 ☎ 585-2984
 - ◆小中学校関係 …学校教育課学校教育係 ☎ 585-2892
 - ◆幼稚園・保育所関係 …幼児教育課幼児教育係 ☎ 585-2119

国見町では、平成24年度4月分から、町税をこれまでの金融機関に加えてコンビニエンスストアでも納めることができるようになります。これにより、曜日や時間に関係なく全国のコンビニエンスストアで納めることが可能になります。なお、利用できるコンビニエンスストアについては、次のとおりです。



セブン-イレブン	ローソン	ファミリーマート
セーブオン	ミニストップ	コミュニティ・ストア
サークルK	サンクス	ヤマザキデイリーストア
デイリーヤマザキ	生活彩家	くらしハウス
ポプラ	スリーエフ	スリーエイト
MMK（マルチメディアキオスク）設置店	ヤマザキスペシャルパートナーショップ	

◆次の金融機関では、これまでどおり納めることができます◆

◎指定金融機関などの本店・支店

福島信用金庫・㈱東邦銀行・㈱福島銀行・㈱大東銀行
伊達みらい農業協同組合・東北労働金庫

◎ゆうちょ銀行または郵便局（督促状を除く）

東北6県（福島県、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県）内に限る。

コンビニ納税に関する質問 Q & A

- ☆納めることができる町税の種類は？ → 町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税の4税目です。
- ☆コンビニで納める際、手数料はかからないのですか？ → 手数料などは、かかりません。
- ☆督促状が届きましたが、コンビニで納められますか？ → 平成24年4月以降に発行した督促状であれば、納付できます。
- ☆コンビニに納めに行ったところ、「この納付書はお取り扱いできません」と断られました。 → 次の納付書は、コンビニでは納付できません。
・1枚の税額（1期分の税額）が30万円を超えるもの
・税額を訂正したもの
・バーコード表示のないもの
・汚損などでバーコードの読取りができないもの
・納付書のミシン目を切り離したもの
・平成24年3月以前に発行された納付書・督促状
- ☆納付書を紛失した場合 → 納付書を再発行しますので、お問い合わせください。

★詳しい内容については、広報くみに4月号でお知らせします。 ◆問い合わせ 税務課収納係 ☎ 585-2780

もうすぐ1年生

平成24年度小学校入学児童のみなさん74名

●国見小学校74名

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 菅野 結奈 | 佐藤 蘭 | 山崎 果 | 高野 美々 | 緑上 満里奈 | 中條 紗音 | 大槻 理子 | 須賀 龍一 | 本田 裕人 | 齋藤 孝亮 | 穴谷 結斗 | 渋谷 駿斗 | 中野 心裕 | 目黒 愛美 | 小島 瑠斗 | 菊地 璃叶 | 金田 伊生 | 紺野 蓮 | 遠藤 彰 | 半澤 瑠斗 | 本多 結菜 | 齊藤 翔 | | | | | | |
| 小池 友那 | 佐藤 遥哉 | 比佐 楓華 | 武上 実夢 | 村上 春菜 | 佐藤 眞緒 | 齋藤 脩暉 | 斎地 巧磨 | 藤原 華凜 | 原 大翔 | 吉田 英生 | 佐久間 悠翔 | 中野 悠翔 | 佐々木 真結 | 小島 瑠華 | 栗原 成希 | 赤坂 美優 | 八巻 木春 | 志村 尚哉 | 佐藤 悠理 | 遠藤 秀晃 | 徳江 愛陽 | | | | | | |
| 菅野 如音 | 武田 莉紗 | 吉田 来輝 | 寺島 久美巴 | 近野 花果 | 穴戸 乙羽 | 齋藤 涼太 | 齋藤 生 | 小室 咲香 | 後藤 玲 | 皆川 美優 | 阿部 みづき | 佐藤 大翔 | 佐藤 夏輝 | 鈴木 拓磨 | 村上 拓磨 | 後藤 瑞希 | 遠藤 雄斗 | 松浦 希望 | 志村 颯斗 | 紺野 美稀 | 後藤 星渚 | 村上 海斗 | 佐藤 陽生 | 寺島 龍 | 吉田 来輝 | 武田 莉紗 | 菅野 如音 |

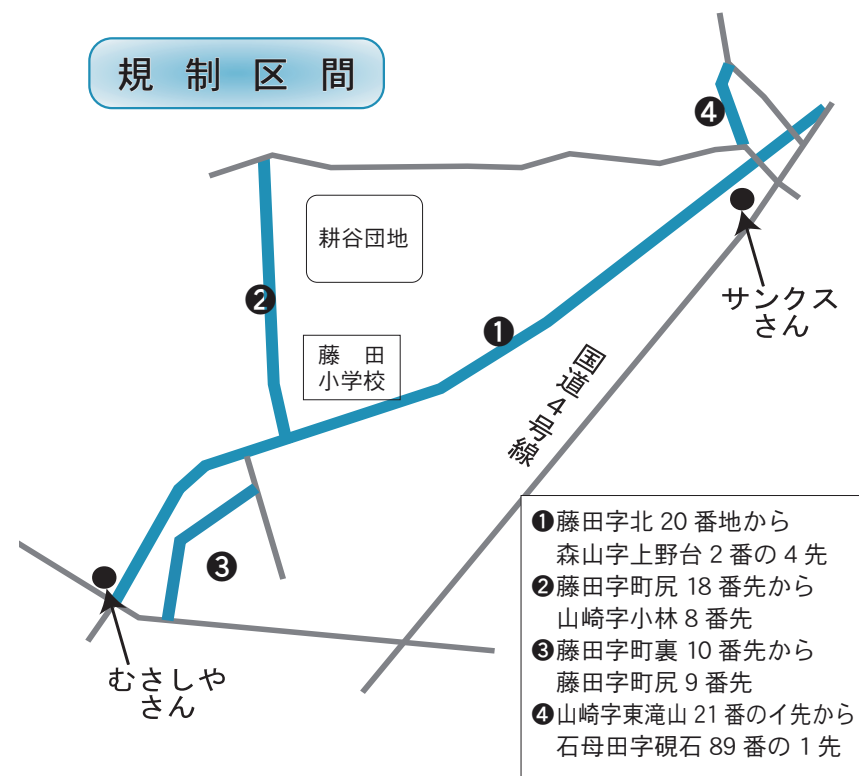


小学校にいてもよろしくね

3月20日頃 実施予定 藤田小学校周辺の朝の交通規制変更

土・日・祝日を除く午前7時から午前8時までの間、
次の地図に示した区間で車両の通行を禁止します。

※変更前の規制時間は、午前7時30分から午前8時30分までの間です。



● 3月20日頃規制の内容が変わります。
 藤田小学校は、小学校の統合により4月から国見小学校となります。このため、各地からスクールバスが運行され、児童は小学校のグラウンドの南側道路上で降りて、徒歩で校舎に向かうこととなり、児童の安全確保のため現状に合わせて規制時間を変更します。
 また、新たに町の駐車場が藤田幼稚園の西側に設置されることから、園児の送迎などに駐車場を利用できるようにするために変更します。
一通行許可について
 これまで通行許可を得ていた方は、規制時間が変更されても許可証の変更手続きは必要ありません。新たに通行許可が必要な方は、桑折分庁舎(午前9時～午後5時)にお問い合わせください。

◆問い合わせ 福島北警察署 ☎ 554-0110 福島北警察署桑折分庁舎 ☎ 582-2151

まだお済みでない方は、お早めの提出をお願いします。

日本経済の「いま」を教えてください。

平成24年 経済センサス 活動調査

調査票の提出、ありがとうございます。

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村
<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

経済センサス 検索

アナログテレビ放送は、今年の3月31日で終了します。

アナログテレビ放送は、3月31日正午から、ブルーバックのお知らせ画面に移行し、3月31日の24時までにはすべての放送が終了します。それまでの間に、地上デジタル放送を視聴するための準備をしないと、テレビを見ることができなくなります。

「地デジ」のことについてはよく分からないという方は、

- 地デジの準備●
- ▶方法① デジタルテレビへ買換え
 - ▶方法② 現在のテレビに「地デジチューナー」を接続



◆デジサポ福島 電話番号 024-505-1010
 (平日午前9時～午後9時、土日祝日午前9時～午後6時)
 ※IP電話などでつながらない場合は、☎03-4334-1111

デジサポ福島までお問い合わせください。

福島県（国見町） 借上げ住宅の申込期限

東日本大震災により、住宅が全壊などにより居住する住宅がない世帯に、福島県が民間住宅の借上げ、住居を提供してきましたが、この福島県（国見町）借上げ住宅の新規申込が次に示す期限をもって終了となります。

申込を希望される方は、期限内にお申し込みください。

●申込期限 平成 24 年 3 月 30 日

◆問い合わせ
建設課管理係 ☎ 585 - 2972

高速道路の 震災本復旧工事

NEXCO 東日本では、東日本大震災で被災した高速道路の本復旧工事を行っています。工事や調査のために、渋滞が発生してご迷惑をおかけしています。

今後、工事区間全体で工事が本格化しますが、渋滞の長さや通過にかかる情報を提供して行く予定です。また、NEXCO 東日本のホームページ（ドラぶら）に交通規制の予定を掲載していますので、事前に交通情報を入手し、時間に余裕をもってお出かけくださいますようお願いいたします。

◆問い合わせ
NEXCO 東日本お客さまセンター
0570 - 024 - 024
PHS・IP 電話からは、03 - 5338 - 7524

平成 24 年度 自動車税の定期課税

平成 23 年度は東日本大震災の影響により課税時期を延期しました自動車税の定期課税について、平成 24 年度は 5 月 31 日（木）を納期限として課税をします。

詳しくは、次のところまでお問い合わせください。

◆問い合わせ
福島県税務課 ☎ 521 - 7067 または 7070

医療費の窓口負担、介護保険利用者負担の免除期間が延長

●医療費の窓口負担免除

平成 23 年 7 月より実施されてきた医療費の窓口負担免除の期間が平成 24 年 9 月 30 日まで延長されます。ただし、入院時食事療養費と入院時生活療養費の標準負担額及び療養費（柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の施術費、治療用器具等）の自己負担額の免除は、平成 24 年 2 月 29 日分までで終了となります。

（※福島第一原子力発電所事故による警戒区域などの全ての住民の方については、免除期間が平成 25 年 2 月 28 日までとなります。）
対象となるのは、これまで同様住家の全半壊、全半壊またはこれに準ずる被災をした方などで、国民健康保険、後期高齢者医療制度、協会けんぽにご加入の方です。（健康保険組合などその他の医療保険にご加入の方は、それぞれの保険者にお問い合わせください。）

◆問い合わせ 保健福祉課国保係 ☎ 585 - 2785

●介護保険利用者負担免除

東日本大震災により被災された方を対象に実施してきました介護保険利用者の 1 割負担について、この度平成 24 年 9 月利用分までに延長されました。なお、対象となるのは、これまで同様「住家が全半壊した方」などとなっています。

詳しくは、お問い合わせください。

◆問い合わせ
保健福祉課長寿介護係 ☎ 585 - 2125

「国見ニュータウン」 被災者向け割引制度期間延長

町では、東日本大震災による被災者の方々を対象に「国見ニュータウン」の分譲地を半額で分譲してきましたが、申込受付期間を平成 24 年 8 月 31 日まで延長することとなりました。

《対象となる方》

- ①東日本大震災により居住していた住居が全壊の被害を受けた方。（半壊などにより損壊家屋等解体処理支援事業の申請をした方、平成 24 年 3 月 31 日までに居住していた住宅の取り壊しをした方を含みます。）
- ②福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域、それに準ずる区域（特定避難勧奨地点を含む）になった地域に平成 23 年 3 月 11 日時点で住所を有していた方。

《分譲金額》（半額後の価格）

494 万円から 788 万 9 千円

◆問い合わせ 企画情報課企画情報係 ☎ 585 - 2927

東日本 大震災 関連情報

固定資産の閲覧・縦覧

固定資産税課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。
なお、今年は 3 年に一度の土地・家屋の評価替えの年にあたります。平成 24 年度の固定資産税納税通知書は、5 月上旬頃に発送します。

	固定資産税課税台帳の閲覧	土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧
閲覧（縦覧） できる方	① 納税義務者（同一世帯の親族含む） ② 納税管理人 ③ 借地人・借家人 ④ 当該固定資産を処分する権利を有する一定の方 ⑤ ①～④の委任状を持参した方	① 納税義務者（同一世帯の親族含む） ② 納税管理人 ③ ①～②の委任状を持参した方
閲覧（縦覧） 期 間	4 月 2 日（月）～5 月 31 日（木）まで 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 （土・日・祝日除く）	4 月 2 日（月）～5 月 31 日（木）まで 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 （土・日・祝日除く）
必要なもの	申請人（窓口に来た方）であることを証明するもの（運転免許証、健康保険証等）、印鑑（法人の場合は登録印）、借地人・借家人等は契約書等、処分する権利を有する一定の方はそれを証する書類	申請人（窓口に来た方）であることを証明するもの（運転免許証、健康保険証等）、印鑑
手 数 料	1 件 300 円 （納税義務者は上記の期間は無料）	無 料

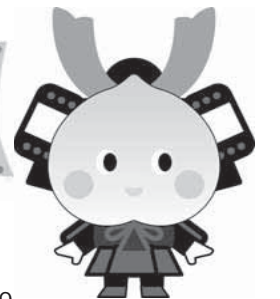
●閲覧制度

ご自身が所有する固定資産の課税台帳の内容を見ることができる制度

●縦覧制度

町内に所有する固定資産の納税者が、町内全域の土地や家屋の価格を見ることができる制度

閲覧と縦覧
のちがい



詳しくは、税務課課税係までお問い合わせください。 ☎ 585-2778 または 585-2779

国見町公式ツイッター 始めました

～皆さんフォローしてください～

町では、多くの人々に情報を発信する 1 つの手段として、国見町公式ツイッターを始めました。

ツイッターとは、140 文字以内の文章を発信することで、その情報を多くの人々に発信するインターネット上のサービスです。

町では、このサービスを利用して町からのお知らせ、町の出来事などを発信していきます。

皆さん、フォローやリツイートをしてください。

詳しくは、町のホームページをご覧ください。または、次のところまでお問い合わせください。

◆問い合わせ 企画情報課企画情報係 ☎ 585 - 2927

※町からのフォローやリプライ（返信）は行いません。ご意見などは担当課に直接お問い合わせしてください。また、「町民意見箱」をご利用ください。

お忘れなく**税務申告相談**
受付は**3月15日（木）**まで

申告は、昨年 1 月から 12 月までの所得を申告していただくもので、平成 24 年度の町県民税や国民健康保険税などの課税の基礎となります。また、申告されたいと、所得証明書等が交付できない場合もありますので、忘れずに申告してください。

◆問い合わせ
税務課課税係
☎ 585 - 2778

ください。

国見町では、観月台文化センター 3 階第一研修室で 3 月 15 日（木）まで受付をしています。

みんなで鬼は外、福は内 幼稚園や保育所で豆まき



幼稚園や保育所では2月3日の節分の日、豆まきをしました。
藤田幼稚園では、事前に園児たちが協力して作っていたダンボールの大きな鬼をめぐりて豆をまき、自分の中にいる弱い鬼を追い出していました。
また、藤田保育所では、かわいい鬼、泣き虫鬼、こわい鬼、いろいろな表情の鬼の面を付けた子どもたちが登場し、豆まきを楽しみました。
(写真は、藤田幼稚園の豆まきの様子)

3・11に生まれた子へ 希望の「君の椅子」をプレゼント



国見町で昨年大震災の発生した3月11日に生まれた鈴木翔太ちゃん(築館)に、北海道東川町、剣淵町、愛別町、旭川大学の共同プロジェクト「希望の「君の椅子」を贈る3・11の会」から2月21日、君の椅子が贈呈されました。
椅子のプレゼントは、生まれてきた子の居場所の象徴として北海道のこの地域で6年前から実施されているものですが、今回特別に被災した福島・宮城・岩手で3月11日に生まれた104人に贈られました。

遠く離れた友だちと 小坂小と西気賀小の交流



小坂小学校と静岡県西気賀小学校の冬の交流が1月28日、29日の2日間、小坂小学校と山形県の米沢スキー場を会場に開かれました。両校の児童たちは遠く離れた友だちとゲームや雪遊びで1泊2日の交流を深めました。

楽しかった西気賀交流

小坂小 5年 佐藤淳哉
ぼくのめあては、西気賀のみんなとたくさん遊んだり、話したりして交流することでした。ゲームや雪遊びを通して、めあてを達成することができたので良かったです。
また、ぼくは、別れの集いで、代表あいさつをしました。あまり間違えず、気持ちを込めてできたので良かったです。
ぼくの一番の思い出は、西気賀のみんなと雪遊びをしたことです。そり滑りやタイヤチューブ、竹スキーなどをやりました。どれもこれも全部楽しかったです。
西気賀のみんなが、「いっしょに乗ろうよ」と言ってくれたのも、うれしかったです。みんなで遊んでいると、ずっとこのままでいたいと思うくらい、とっても楽しくなりました。
昨年の夏には、西気賀で、とてもたくさんの思い出をいただきました。学校としての交流が最後となる今回、その恩返しができると思うので良かったです。

放射能の知識を高める くにみ熟年学習クラブ



くにみ熟年学習クラブ(新村国夫会長)の1月定例会が1月29日、観月台文化センターで開催され、放射能について学びました。
この日は、日本原子力研究開発機構の担当者を講師に招き、放射能の基礎知識や福島第一原子力発電所事故による影響などについて話を聞きました。
参加した人々は、放射線や放射性物質、除染について積極的に質問をし、放射能についての知識を高めていました。

思ったことを三十一文字に 小学校で短歌出前講座



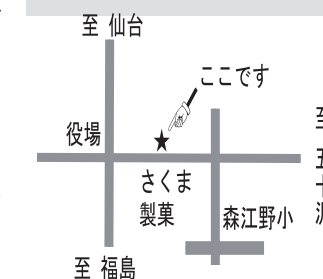
国見町桜のうた実行委員会(羽根田ヒサ委員長)では、恒例となった「桜のうた」短歌募集を前に、町内の各小学校で短歌出前講座を開きました。
藤田小学校では、「桜のうた」の選者を務める岡田稔氏が、野菜の模型を用い、「見た目より実際に触って思ったことを表現してみよう」と簡単に短歌を作るコツを話しました。その後、児童は実際に思いついたことを三十一文字にまとめ、短歌を作っていました。

色とりどりのつるし雛 町内の女性団体が展示



開催日 3月21(水)まで
午前9時30分～午後4時
毎週木曜日定休
くにみ浪漫大地の恵み館
☎ 585-5812

くにみ浪漫大地の恵み館には、町内の女性団体に所属する皆さんが作成したつるし雛が展示されています。
色とりどりのつるし雛は、訪れた人々の目を楽しませてくれます。



町特産の米とリンゴをどうぞ 飯舘村からの避難世帯に提供



国見を元気にするアープの会(代表:氏家博昭さん)は2月12日、飯舘村からの避難世帯に対して国見町特産の米とリンゴを贈りました。
今回贈られた米とリンゴは、12月に会が埼玉県所沢市で開催した「国見フェア」と東京日本橋で開催した「国見焼」陶芸展での売上金により、町内の農家から購入したものです。会の代表を務める氏家さんは、「避難している方への支援と町内の農家にも貢献できる。町の復興のためにこの取り組みを続けたい」と話していました。

平成 24 年度から
個別接種となります。

平成 24 年度 春のポリオ予防接種

～国見町ではポリオ予防接種を春と秋に実施します～

- ★対象者 生後 3 か月から 90 か月未満までの 1 回もしくは 2 回未投与の乳幼児
- ★持参物 母子健康手帳
※予診票（複写式）は各医療機関に備え付けてありますので、
予防接種手帳の予診票（単票）はお使いにならないようお願いします。
- ★接種方法 次に示す指定医療機関に電話等で予約の上、1 回接種するようにしてください。
秋のポリオ予防接種日程については、9 月頃お知らせする予定です。

指定医療機関 ※必ず事前予約をしてください。

医療機関名	予防接種指定時間等	
公立藤田総合病院 ☎ 585 - 2121	5 月 15 日（火）・5 月 29 日（火） 午後 1 時 30 分～ 2 時	要予約
（医）くまだ小児クリニック ☎ 583 - 5656	日程は、電話でご確認ください。 時間は、午後 2 時～ 2 時 30 分	要予約
（医）桑名医院 ☎ 583 - 3024	4 月 4 日（水） 午後 1 時 30 分～ 2 時	要予約
（医）石川小児科内科クリニック ☎ 575 - 5523	4 月 4 日（水）・13 日（金）・27 日（金） 午前 10 時 30 分～ 12 時、午後 2 時 30 分～ 4 時 ※上記の時間で都合の悪い方は、診療時間内であれば可能です。	要予約
さとうファミリークリニック ☎ 574 - 2811	4 月の火・木・金 午前 10 時～ 12 時、午後 2 時 30 分～ 2 時 45 分 4 月の土 午前 10 時～ 12 時	前日まで 要予約
（医）武田小児科 ☎ 575 - 2439	4 月 2 日（月）・3 日（火）・4 日（水）・5 日（木）・13 日（金） 20 日（金）・27 日（金） 午後 1 時 30 分～ 1 時 45 分 ※上記の時間で都合の悪い方は、ご相談ください。	要予約
こばやし子ども・内科クリニック ☎ 577 - 0663	4 月 2 日（月）・10 日（火）・18 日（水）・28 日（土） 時間は、電話でご確認ください。	前日まで 要予約

お子さんの 予防接種はお済ですか？

4 月からの入園・入学に備えて、予防接種の接種漏れがないか、母子健康手帳で確認してみましょう。

特に、現在、小学就学前の 1 年間の児（幼稚園年長児）、中学 1 年生、高校 3 年生に相当する年齢の方で、麻しん風しん混合予防接種をまだ接種していない方は平成 24 年 3 月 31 日までが接種期間となっていますので早めに受けるようにしましょう。

健康管理世帯調査台帳の 記入について

町では、町民の皆様が、心豊かで健康な生活を過ごせるよう健康づくりの一環として毎年各種がん検診等を実施しています。

町で実施する各種検診において、受診希望の有無を把握したいと存じますので、全世帯の方に健康管理世帯調査台帳への記入をお願いします。

なお、記入についての説明書及び健康管理世帯台帳につきましては、地区の健康推進員を通じて配布します。回収につきましては、健康推進員の指定した回収期日までに、受診希望の有無を記入のうえ提出いただきますようお願いします。



ガラスバッジ

3 回目回収 のお知らせ

3 回目の回収は学校等の行事にあわせて日程を設定しましたのでご協力ください。期限を過ぎての提出は、町全体の測定結果・結果報告等の遅れにつながりますので、期日厳守をお願いします。

紛失・破損の場合や回収日を過ぎてしまった場合は、速やかに問い合わせ先に申し出てください。

【回収方法】 バッジ本体のみを回収します。（ホルダーはご自身で処分してください）

所 属	日 程	回収方法
① 中学 3 年生	平成 24 年 3 月 12 日（月） （指定日以外の日程で提出希望の方は 事前に学校教育課 ☎ 585-2892 へ連絡）	午前中までに 中学校へ持参
② 幼 稚 園 児	平成 24 年 3 月 15 日（木） （指定日以外の日程で提出希望の方は 事前に幼児教育課 ☎ 585-2119 へ連絡）	午前中までに 幼稚園へ持参
③ 中学 1・2 年生 小 学 生 保育所・季節保育所児	平成 24 年 3 月 21 日（水）	午前中までに 各施設へ持参
④ 上記以外の乳幼児 町外の幼稚園・中学校へ 通学している人	平成 24 年 3 月 21 日（水） 郵送の方は 3 月 19 日午前中投函	午前中までに 保健福祉課に持参 返信用封筒で郵送

◆問い合わせ 学校教育課 ☎ 585 - 2892、幼児教育課 ☎ 585 - 2119、保健福祉課保健係 ☎ 585 - 2783

*** ニコニコ相談会 ***

対 象 者	実 施 日	実 施 時 間	会 場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	5 月 2 日（水）	午前 10 時～ 午前 11 時 30 分	子育て支援センター （藤田保育所内）

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒に入れて）を忘れずに！
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎ 585 - 2374）に電話でお申し込みください。

*** 乳 児 健 診 ***

該 当 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
・3 か月児（平成 24 年 1 月生まれ） ・9 か月児（平成 23 年 7 月生まれ）	5 月 24 日（木）	午後 1 時 15 分～ 午後 1 時 45 分	観月台文化センター 第 1 和室

【健診内容】 医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

*** 3 歳 児 健 診 *** ※会場に注意してください。

該 当 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
平成 20 年 10 月 1 日～ 平成 20 年 11 月 30 日生まれの幼児	5 月 17 日（木）	午後 1 時 15 分～ 午後 1 時 45 分	小坂農村総合管理センター

【健診内容】 内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。
心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
健診該当者には、後日健診票を郵送します。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

くらしの報

募 集

国家公務員 総合職・一般職(大卒程度)

人事院では、国家公務員採用総合職試験及び一般職試験(大卒程度)を実施します。

【総合職試験】

受付は、インターネット申込受付期間が4月2日(月)から4月9日(月)まで(郵送持参の場合は、4月2日(月)から4月3日(火)。受付最終日の通信日付印有効)、第一次試験は4

月29日(日)に行います。
【一般職(大卒程度)】
受付は、インターネット申込受付期間が4月10日(火)から4月19日(木)まで、(郵送持参の場合は、4月10日(火)から4月11日(水)。受付最終日の通信日付印有効)、第一次試験は6月17日(日)に行います。

申込方法や受験資格などの詳しい内容については、人事院ホームページまたは次のところまでお問い合わせください。

◆問い合わせ

人事院東北事務局第二課試験係
☎022-221-2022
ホームページ
<http://jinji.go.jp/saiyo/saiyoh.htm>

詠進歌

お題は「立(りつ)」

平成25年歌会始の詠進歌を募集します。

▼応募方法

▼お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発

表のものに限りません。▽作品は半紙(習字用の半紙)に毛筆で自書してください。

▽書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(ふりがな)、生年月日及び職業を縦書きしてください。

▼郵送のあて先 「〒100-8111 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

▼応募期間 9月30日まで(当日消印有効)

◆詳しくは、宮内庁ホームページをご覧ください。
<http://www.kunaicho.go.jp/>

お知らせ

第22回元気セミナー

公立藤田総合病院では、地域住民の皆様に向けて「元気セミナー」を開催します。申込不要・無料のセミナーですので、お気軽に

お越しください。

▼日時 3月22日(木) 午後4時

▼場所 総合受付前ホール・シャングリラ

▼演題 家庭でできる救急対応PART2 家の中にひそむ危険

▼講師 麻酔科長 丸 浩明 氏

◆問い合わせ 公立藤田総合病院地域医療連携室

☎585-2121

「引越相談所」開設

引越シーズンのピークとなる3月・4月の2カ月間、トラック事業者の団体である福島県トラック協会では「引越相談所」を開設し、電話などによる引越等の相談に応じています。

緑ナンバーのトラックを利用しての引越や、引越に伴う種々のサービスについてお困りのことがありましたら、最寄りの「引越相談所」へご相談ください。

▼相談時間 月々金曜日

(祝日を除く) 午前9時～午後4時
◆問い合わせ
福島県トラック協会本部
☎558-7755
福島県トラック協会福島支部
☎573-8755

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区費の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。平成24年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届け出をしてください。

▼届け出が必要な場合

▽農地の売買などにより所有権が変わったとき
▽地区除外をするとき
▽経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
▽農地の貸借があったとき(水利費の支払義務者を確認してください)
▼届出期間 3月23日(金)まで

◆届け出・問い合わせ

伊達西根堰土地改良区
☎582-2319

医薬品副作用被害 救済制度

医薬品副作用被害救済制度は、病院・診療所で処方された薬や薬局で購入した

子ども緊急サポートネットワーク スタッフ会員養成研修

子ども緊急サポートネットワーク

薬を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により、入院治療が必要な程度の疾病や障害などの健康被害を救済するものです。万が一入院治療を必要とする程度の副作用が発生した場合には、電話などでご相談ください。

◆問い合わせ

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
☎0120-149-931
(月々金(祝日、年末年始除く)、午前9時～午後5時)

◆問い合わせ

子ども緊急サポートネットワーク
☎592-2270

トワークふくしまでは、子育て支援の講習会を開催します。子育て家庭を地域のみなさんで支え合います。

▼日時

3月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)

▼場所

伊達市保原中央公民館

▼定員

40名

▼受講料

無料(ただし、テキスト・資料代として3,000円)

▼申込締切

3月15日(木)

詳しくは、お問い合わせ

ください。

戸籍の窓口

1月21日～2月20日受付分

結婚おめでとう

南 友和さん (第7)
萬田 瑞季さん
比金 雄太さん (大町南)
佐藤友里恵さん
高橋 信樹さん (源宗山西)
吉田 千里さん

誕生おめでとう

実沢 優莉ちゃん (第3)
和幸さん 麻依さん
齋藤 佑晟ちゃん (藤田光陽)
高男さん 雅世さん
大波 柊陽ちゃん (第9)
孝至さん 由香子さん

おくやみ申し上げます

八巻 幸吉さん 97 (徳江北)
大槻 忠義さん 84 (第12)
菊地 亨さん 77 (第10)
赤坂 サクさん 88 (内谷西)
松浦 甫さん 91 (石母田原)
近野 昇治さん 95 (第4)
岩淵 圭子さん 84 (山崎耕谷)
佐藤喜四郎さん 84 (泉田中)
谷津 正晴さん 85 (山根)
後藤 健一さん 69 (錦町)
後藤 ナミさん 88 (川内)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成24年1月31日現在
人口 10,189人 (3)
男 4,930人 (3)
女 5,259人 (0)
世帯 3,341世帯 (0)

※広報くみにみでは、住民基本台帳人口を掲載しています。

シベリア強制抑留者の皆様へ

平和祈念事業特別基金では、特別給付金を支給しています。平成22年6月16日にご存命で日本国籍を有する方(同日以降に亡くなられた方は相続人)が対象です。請求の受付は平成24年3月31日までとなっています。まだ、請求されていない方は、平和祈念事業特別基金までご連絡ください。

◆問い合わせ

独立行政法人平和祈念事業特別基金

☎0570-059-204
(IP電話、PHSからは、03-5860-2748)

4月の相談会

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
12日(木) 山崎 岩雄さん
松浦 光子さん
26日(木) 八巻 栄子さん
富塚美貴子さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】

日程などが決まりましたら、4月号でお知らせします。
(4月下旬予定)

農業委員会 総会の日程

町農業委員会の総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。
・日時 3月19日(月) 午後1時30分
4月20日(金) 午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585) 2676 FAX(585) 2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

**震災復興講演会
「初代栃東講演会」**

元関協初代栃東、本名志賀駿男さんによる震災復興講演会が2月25日、観月台文化センター大研修室で開催され、「私の相撲道そして後継者育成へ」と題して講



講演会の様子

演が行われました。志賀さんは相馬市出身で、昭和35年の初土俵以来、小柄な体で動き回り業師と言われ、昭和47年初場所には幕内優勝、最高位関脇と活躍されました。引退後は後進の指導にあたり、玉ノ井部屋を創設し、二代目栃東を大関まで育て上げました。講演会では、現役時代の映像が上映され、相撲との出会いから、師匠栃錦の教え、思い出の対戦を振り返りました。特に「あきらめないこと」「忍耐力が大切と語り、二代目栃東の育成や相撲の歴史についても触れま



講演する初代栃東、志賀さん

した。また、質問コーナーでは、「外国人はなぜ強いのか」「懸賞金の額は」などの質問が出され、終了後は握手会が開かれました。志賀さんは故郷の惨状に心を痛めており「現役時代は皆さんの応援が力となった。被害に負けず頑張ったほしい」との思いも語られました。

**盤上で熱い勝負！
新春囲碁・将棋大会**

第20回国見町長杯新春囲碁将棋大会が2月5日、観月台文化センターにおいて、囲碁・将棋愛好者や小学生も含めて39名が参加して開催されました。



真剣な表情で勝負に挑む参加者

	囲碁の部		将棋の部	
	Aクラス	Bクラス	Aクラス	小学生の部
優勝	村上 健一	斎藤 洋次	桐沢 征司	保坂 絃太
準優勝	佐藤 則雄	佐藤 静雄	小林 健二	二宮 泰造
第1位	佐藤 忠司	菊地 安司	大野 重好	
第2位	生亀 哲男	長谷川勝助	齋藤 賢司	
第3位	須田 善治	室井 精一	宮本 和彦	

阿津賀志学級で閉講式・交通安全大学修了式

阿津賀志学級の閉講式・交通安全大学修了式が2月23日、観月台文化センターで開催され、約100名の学級生が参加しました。式では、初めに佐藤町長が震災にもかかわらず熱心に学習してきた学級生をたたえるあいさつを述べ、学習の実施報告が行われた後、皆勤賞(11名)や精勤賞(18名)の表彰、交通安全大学修了証(35名)の授与



閉講式に参加した学級生

「ジェネリック医薬品」についての講演がありました。ジェネリック医薬品は、品質や効果は先発医薬品と変わらず値段が安いことやジェネリック医薬品に変える努力をすることなどで、現在の医療保障制度の継続に結びつくなど大変有意義な話しを聞くことができました。来年度も多くの学級生をお待ちしています。

**13回の学習を開催
成人学級で閉講式**

成人学級の閉講式が2月17日、観月台文化センターで開催され、一年間の活動を振り返りました。平成23年度は、「学び合い・語り合い・楽しむ」を目標に、活動を通して学級生が交流を深め楽しく学び合いました。全部で13回に及ぶ学習それぞれが社会の変化に対応し、自分の教養を高められ

る内容でした。また、今年度も一年間の成果として文集「あしあと」を作成し、都合で出席出来なかった方も学習内容を理解できるように学習で活用した資料などを掲載しました。来年度も一層充実した内容で学習に励めるよう努めますので、多くの方の参加をお待ちしています。

- 1年間の主な活動内容**
- ◆「学び合い」
 - ・講演～国見町の防災体制
 - ・歴史講話～伊達家と国見町
 - ・健康講話～腎臓病予防について
 - ・時事問題～放射線の影響はいつまで続くか
 - ・健康料理教室～カルシウムを摂取する料理
 - ◆「語り合い、楽しむ」
 - ・万歳楽山ハイキング
 - ・グラウンドゴルフ
 - ・レクダンス
 - ・見学学習～寒江江市慈恩寺、酒田市山居倉庫、相馬楼
 - ・文学散歩～源氏物語鑑賞

**琴や三味線を体験！
子ども和楽器体験教室**

子どもたちが和楽器を体験し、伝統の日本文化を身近に親しむため、古典鑑賞会(高橋幸子会長)との共催で、10月から2月まで10回にわたる教室を開催しました。



琴などの和楽器を体験する参加者

きるようになりました。練習の成果は、2月18日に古典鑑賞会が主催して福島市音楽堂で開催された「みんなの音楽会」で発表しました。

40年の活動を振り返って



町文化団体連絡協議会(佐藤治男会長)では、昭和47年の発足以来40周年を迎えたことを記念して、この度「国見町文連40年のあゆみ」と題した記念誌を発行しました。本誌は、加盟団体の活動紹介のほか、町文化振興に貢献されてきた足跡

を辿ることができます。また、2月19日には、会員ら約80名が出席して、記念式典及び祝賀会が開催されました。文化祭を始めとした各種事業の経過報告の後、祝吟や祝舞も披露され歓談を楽しみました。

行事のお知らせ

- 《3月》
- 12日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
 - 13日(火) 子ども移動図書館(小坂小)
 - 14日(水) 子ども移動図書館(森江野小)
 - 15日(木) ブックスタート
 - 17日(土) ふるさと歴史教室⑤(大木戸)
 - 18日(日) 家庭の日
 - 24日(土) 郷土史研究会「40周年記念歴史講演会」
 - 25日(日) 剣道祭
 - 26日(月) 図書室・児童室閉館(～3/30まで) 予定
 - 27日(火) 春休み親子クッキング教室(予定)
 - 28日(水) 古典鑑賞会「狂言を楽しむ会」
- 《4月》
- 2日(月) 休館日
 - 14日(日) 家庭の日

狂言を楽しむ会

- 日時 3月28日(水) 午後6時30分開演(午後6時開場)
 - 場所 観月台文化センター大研修室
 - 入場料 2,000円(当日2,500円) 全席自由
- 主催：古典鑑賞会、後援：国見町教育委員会
 ◆問い合わせ 古典鑑賞会事務局 高橋 ☎585-2287

まちのサークル

VOL 6

フラを通して
心身ともに
健康で美しく

くにみフラクラブ



プロフィール

- ・代表者 小野 なを子
- ・活動日 毎月第1、第3木曜日
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 16名
- ・会費 1,500円/月
- ・問い合わせ 小野 なを子 ☎ 585-4566

「国見でもフラダンスをやってみよう」と婦人会で話が出て始まったのが、今から10年ほど前の平成14年。その後平成18年に町の文化団体連絡協議会に加盟して、現在16名で活動をしているのが、今回紹介する「くにみフラクラブ」の皆さんです。

毎月2回ほどの活動日には、福島市内でフラダンスの指導をしている佐藤靖子さんの指導のもと、町の文化祭や歌謡祭などでの発表を目指して練習をしています。フラの披露は、デイサービスや町のいきいきサロン

でも行っているとのことですが、会員の皆さんは発表会以上にフラを踊ること自体を楽しんでいます。

「音楽に合わせて踊ると、体を動かすことが楽しみでみんな都合をつけて活動日に集まってくるんですよ。また、佐藤靖子先生がフラダンスのすばらしいところを教えてくださいませんか。それは、フラを踊るところで体の中から心身ともに健康で美しくなれるということですよ」と、代表を務める小野さんは、フラを踊ることの楽しみを話してくださいました。

また、皆さんに今後の目標を聞くと、「今、いわきのフラガールが震災からの復興に向けて頑張っています。私たちも復興に向けて頑張りたい。そのためにもレベルアップしたい。多くの人に入ってもらって一緒に踊りたい」。前向きな言葉が返ってきました。そして、フラを踊っている皆さんのイキイキとした表情がとても印象的でした。

2月3日の節分、藤田保育所ではかわいい鬼も登場しました。



小さな天才たち

小坂小学校

「ころころべったん」
えんどう ゆうき(1年)



「風」
齋藤 翔(5年)



「雪だるまの野きゅう大会」
くまさか あきふみ(2年)



「いなわしろこでキャンプ」
熊倉 亜美(3年)



「新しい宇宙」
赤坂 七海(6年)

あとかき

小学校の統合まで1カ月を切りました。町の小学校が1校になるということは、とても大きな出来事です。統合に至るまで多くの人が関わってきましたが、今回の取材を通して、皆さんが真剣に考えていることが伝わってきました。取材の際にお世話になった皆さん、ありがとうございました。(A.S)